

第112号

2015年1月1日

# 長野 教弘だより

[編集・発行]

公益財団法人  
日本教育公務員弘済会長野支部  
TEL026(224)0611  
株式会社 長野教弘  
TEL026(224)0844

長野市南長野南県町999-18  
不動産会館ビル



飯島町立飯島小学校

職	事務局長	“	“	“	“	参	監	“	“	“	“	幹	専任幹事	“	“	“	副	支	顧	顧	顧	
員	増	手	内	御	藤	齊	柏	牧	荒	武	齊	桑	水	中	竹	市	細	加	竹	支	顧	顧
滝	田	塚	山	子	林	藤	原	田	井	田	藤	山	上	島	内	村	尾	藤	内	皆	興	近
澤	邦	房	浩	英	和	博	康	達	正	育	博	七	裕	千	勝	俊	善	正	川	宏	熹	伊
香	織	子	一	文	男	夫	久	夫	則	夫	夫	重	均	治	春	巳	彦	正	俊	宏	熹	守
織	子	子	一	文	男	夫	久	夫	則	夫	夫	重	均	治	春	巳	彦	正	俊	宏	熹	守

今年もよろしく  
お願い致します

## も く じ

支部長年頭挨拶.....	2 ページ	お見舞い.....	3 ページ
表紙学校紹介.....	2 ページ	未来塾ながの for teachers 研修報告	
研究助成事業締切間近.....	3 ページ	.....	4 ~ 5 ページ
ボランティア活動助成金報告.....	3 ページ	コミュニティ広場.....	6 ~ 7 ページ
10年継続祝品贈呈.....	3 ページ	教育文化事業公演のお知らせ.....	8 ページ
退職継続祝品贈呈.....	3 ページ		



年頭挨拶

## 「教弘事業の最終受益者は子どもたち」

公益財団法人日本教育公務員弘済会長野支部 支部長 皆川 宏

明けましておめでとうございます。当会諸事業推進のために、本年も変わらぬご支援をよろしく願います。

さて、年頭にあたり、当会のモットーである「教育振興事業の最終受益者は子どもたちである」について触れ、一年の決意にしたいと思います。

昨年7月、多くのマスコミが「子どもの貧困率」が過去最悪を更新し、先進国の平均を大きく上回る6人に1人になったことを報道しました。同時期、当会では高校生対象の給付奨学生（1人10万円）の募集中でした。申請者は140人の募集に対し269人でした。この数は5年前に比べ、約4倍です（募集枠は2倍）。8月初旬の2回の審査会では、例年以上に、対象生の確定に苦慮しました。家庭の所得、家族構成、家族の就労・就学状況など具に見るにつけ、先の「貧困問題」を目の当たりにしたからです。家庭の経済格差と子どもの経済格差が密接に関連し、それが世代をまたいだ貧富の格差継承につながっていくという「貧困の連鎖」を実感せざるを得ませんでした。「子どもの貧困対策法」や「貧困対策大綱」を実効あるものにすると同時に、背景にあ

る親の労働問題や生活問題などもっと根本的問題の解決のための、国や自治体の具体的な施策を切望するところです。

ともあれ、当会は、こうした高校生をもっと励ますための給付事業の拡充に一層努めたいと決意を新たにしているところです。それにつけても、一人でも多くの先生方が、この教弘事業を理解され、協力していただきたいと思う次第です。

最後に、奨学金を受給した生徒の感想を紹介したいと思います。

この奨学金が、たくさんの先生方の善意で成り立っていることの説明を受け（参事の先生から）、よく分かりました。と同時に、出会ったこともない多くの先生方のエールを受け取った気がして、身の引き締まる思いでした。私も、将来、このような支援を受け取ったことを、違う形でも誰かに恩返しできたらいいなと思います。そして、どのような職についても、困っている人や弱い立場の人に少しでも役立てる大人になりたいと思います。

### 表紙写真・学校紹介

#### 飯島町立飯島小学校

全校児童354名が学ぶ本校は、大変歴史ある学校です。明治維新前から存続していた寺子屋に、明治2年、伊那県学問所が創設されたのが飯島小学校の始まりとされています。校章が制定されたのは昭和4年から6年の間（正確なところは不明）です。当時飯島村には飯島、田切、本郷の三つの区があり、米が豊に生産される沃地でした。その3区を象徴して三つの区画を作り、その中心にこま草の花を図案化しています。こま草は、校歌にあるように「我らの山」である南駒に育つ可憐で清純な花です。隅どる二本の線は、飯島を豊に潤す与田切川と中田切川を表します。三つの地区から集まった飯島の児童が健やかに成長していくことを祈念して作られたものです。



【3年生社会見学】



【少人数によるグループ学習】



【2年生総合的学習の時間】



【一年生をむかえる会】

## 2014年度 教育研究助成事業

締切間近!  
お忘れなく!

- ◆学校研究助成の部
- ◆個人研究助成の部

### 締切は1月20日(火) 必着

ご応募予定の学校・先生は、お忘れなく締切までにご送付ください。事業の詳細は、前号「教弘だより」111号または、当会ホームページ (<http://www.nagano-kyoko.jp>) をご覧下さい。申請書もホームページからダウンロードできます。

## 教弘保険ご継続 満10年の方に 継続祝品を贈呈

2014年4月1日から2015年3月31日の間に、教弘保険会員(※)となり満10年を迎える方に、継続祝品として「カタログギフト」をプレゼントしています。長年ご継続いただき、ありがとうございます。祝品は、共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険㈱の担当LC(ライフプラン・コンサルタント)が順次お届けしています。



※長野支部の定める保険会員条件を満たす方に限ります。

## お見舞い

2014年11月22日に発生しました長野県神城断层地震において、被災されました皆様、関係者の皆様に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

## 助成金給付報告

<ボランティア活動助成金>

申請学校数…172校

1校…10,000円を交付

2014年度ボランティア活動助成金の申請は11月28日をもって締め切りました。当会参事が各学校に10,000円の助成金を順次お届けしています。今後の活動資金等としてお役立て下さい。

## 今年度末ご退職される 教弘保険に

(集団契約特約付勤労保険)

## ご加入の皆さま 長い間お疲れさまでした

教弘保険にご加入いただきありがとうございます。ご退職にあたり、保険料支払方法が給与源泉の方は、口座振替への変更手続きをお願いいたします。お手続きが遅れますと、ご迷惑をおかけする可能性がありますので、在職中にお済ませください。お手続きは共済事業(提携保険事業)提携会社ジブラルタ生命保険㈱の担当LC(ライフプラン・コンサルタント)がご案内します。なお、ご退職後も再任用(フルタイム)でご勤務される方は、引き続き給与源泉にてご継続いただけます。

教弘保険をご継続手続きいただいた方(※)には、ご退職記念品として「カタログギフト」をプレゼントいたします。記念品は、ジブラルタ生命保険㈱担当LCが順次お届けします。



※月掛金¥3,000以上ご継続される方に限ります。再任用(フルタイム)者で源泉にて継続される方、早期退職される方も含みます。

# 未来塾ながの for Teachers

## 「福島県視察研修会」参加報告

### 「未来塾ながの for Teachers」に参加して

(公財)日本教育公務員弘済会長野支部  
参事 内山 浩一



10月16日～10月18日、県内高校の先生方が参加して、福島県での体験研修（「未来塾ながの for Teachers」）が行われた。「未来塾ながの」は平成20年度から、長野県教育委員会教学指導課が生徒を対象に「体験」を重視して実施してきた研修事業である。今年度、教学指導課と共に、（公財）日本教育公務員弘済会長野支部（教弘）が主催者となった。教弘は、これまで東日本大震災により長野県に転入した児童生徒への義援金を給付してきたが、それにとどまらず、今回この事業に積極的に参画したことは大変意義深いことであったと考えている。

今回の研修の目的は、

- ①防災について学ぶ ②被災地を知ろう ③震災からの産業復興の3点であり、研修冒頭のバスの中の自己紹介で、各自から参加した動機が語られたが、全員が強い目的意識を持っていることに感服した。研修自体も極めて盛り沢山で内容の濃い、以下のような概要である。
- ①福島大学「うつくしま未来センター」での施設見学とキャリア研究の五十嵐敦教授等による震災後の若者の進路支援についての講義。
- ②いわき市立勿来第二中学校で、澤井史郎校長の講話、赤池孝行・NPO法人「みんぶく」代表の話に基づいての避難所疑似体験。体育館での宿泊や非常食など極めて得難い体験であった。
- ③NPO法人「みんぶく」による減災スタディツアーで、東日本大震災の全貌を振り返ることができた。
- ④いわき明星大学内に設置されたサテライト校の視察。福島県立の双葉高校、双葉翔陽高校、富岡高校はここに転入されサテライト校となっている。3校の授業見学と双葉高校長及び3人の教頭との懇談会を行ったが、生徒は1学年10数名であり、双葉高校と双葉翔陽高校は来年度から募集停止となる。それも含め、学校関係者の苦勞が大きいことを感じた。
- ⑤スパリゾートハワイアンズでの業務改善室長講話。震災当日から数日間の宿泊客の安全確保や復興までの経過に

息詰まる思いがした。福島県の温泉地は風評被害もあり、業績回復に苦闘している中で、このホテルは「一人勝ち」と言われている。その要因は何か、地域再生の工夫と対策について知ることができた。

- ⑥小学校敷地内の仮設商店街の視察。久之浜町は、いわき市最北端にあり、震災時は地震、津波、火災の被害が甚大であった。今は、久之浜第一小学校敷地内の仮設商店街「浜風商店街」を開いて活動している一方、「ふれあい情報館」で当時の記録を残し、悲惨な過去を忘れないようにしている。

今回の研修に参加して、東日本大震災は今も大きな爪痕を残していることを改めて痛感した。阪神淡路大震災が地震による被害が中心であったのに対して、東日本大震災は地震だけではなく、津波、原発被害の影響が極めて大きいことが理由の一つと言われている。バスで海辺を通過したが、人の姿はまったく見られない地域もある。若者はもとより高齢者の中にも県外への移住を考えている人々も少なくない状況下で、学校、産業、地域全体がどう取り組んでいるか、多くの方に本音を聞くことができたことは参加者全員にとって貴重な体験であった。

災害時における危機管理対応についても、学校やホテルの責任者の体験談は重いものがあった。学校の場合、生徒の安全をどう確保するかはもとより、学校は避難所となることが多く、それも長期間にわたり、あらゆる年代の大勢の人たちに施設の相当部分(教室に被災者を入れ、体育館を仕切って授業を行った学校もある)を提供することになる。

特に、震災直後は、食糧や飲料水、医薬品などが大幅に不足し、また、不安やプライバシーが保てないことなどから被災者の精神は不安定になりがちである。私たちは、中学校の体育館で宿泊したが、今回は20名ほどで体育館全体を使用したため、相互の距離も十分にとることができた。これが、数百名となったときの不自由さは想像してあまりあるもので、その中で、どのように大勢の人たちの気持ちを平静に保ち、希望を持たせるか、非常に困難な当時の取り組みを知ることができた。

これを書いている11月下旬に、長野県の白馬・小谷地区を中心とした大きな地震があった。また、今年の9月には御嶽山の噴火が大変な被害をもたらした。こうしたことから今回の研修が計画された意味は大きかったと思う。教弘の活動に対する教育現場の期待も一層大きくなっていることを強く感じるが、今後も学校との連携を深めながら、様々な活動を行っていきたいと考えている。



宿泊する体育館で説明を聞く



夕食(非常食)



浜風商店街において



浜風商店街記念館

# 未来塾ながの for Teachers

## 「福島県視察研修会」参加報告

### 「四重苦」癒えることない、福島は今

長野県松川高等学校  
菅沼節子さん



福島県勿来（なこそ）第二中学校体育館で、非常用五目ご飯の夕食を済ませ「避難所疑似体験研修」が始まりました。ギッギー、ガサガサ、ヒューヒュー。荷物を紐解く音・戸の開閉音・頭上をよぎる風等々、提供された段ボールと持参したシュラフで休む場所を確保したものの寒い寒い心細い一夜を明かしました。3年8ヶ月前、この体育館で被災された方々は、小雪舞う凍てつく夜にどれほど「心細く不安と恐怖の中で過ごされたことか」と思いを馳せるにつけ、ご心労とご苦勞の一端を肌で感じました。翌日、「いわき明星大学」敷地内のサテライト校（分校）へ。原発避難区域内の富岡・双葉翔陽・双葉高校の3校が、1つ屋根の下で肩を寄せ合いながら不自由な避難生活を送っていました。教師とマンツーマンで受講している女生徒の澄んだ眼差しと真摯な姿からは「四重苦に負けず夢に向かって進む」決意と凜とした気配を感じました。また、たった1人の生徒の未来のために黒板一杯に板書し熱く語っておられる教師のお姿に、教育の神髄と命そのものと対峙する崇高さを学びました。

この度の研修では、福島の皆様から「地震・津波・原発・風評被害」の四重苦、さらには帰る故郷を無くしたまだまだ癒えぬ心の深い傷と共に、懸命に前に向かって生きぬいていこうとする人間の尊厳を感じました。同時に、貴重な研修を現場で伝えながら、今後の実践活動に活かして行くことの責任も改めて感じてまいりました。

最後になりましたが、福島研修を果敢にも計画して下さった横内先生・教学指導課の皆様にご敬意を表するとともに、物心両面で御支援ご指導下さった内山先生をはじめ教弘の皆様方に厚く御礼申し上げます。

### 研修を通して感じた福島

長野県梓川高等学校  
大口雄也さん

私は今回の研修で東日本大震災以降初めて被災地を訪れた。震災当日の私はまだ学生で西日本にいたため、報道で被害の様子を知るのみであった。そのような状況でもあり、震災について考えることはこれまで少なかったと思う。今回の研修に参加し実際に被災した方々の声を聞き、現場を見ることで震災について改めて考えることができた。



いわき市立勿来第二中学校を訪れ、校長先生より震災当日から数日間の話聞いた。多くの学校が地域の避難所となるなか、現場で何が起きているか、何が必要とされているかなど、当事者であるからこそリアルな話であった。『避難所は命を守る最後の砦である。』この言葉が印象に残った。自身も被災した先生方が過酷な状況の下、手探りで避難所を運営していく、強い責任感と意志を感じた。

いわき明星大学キャンパス内にあるサテライト高校の見学では、被災した学校の生徒達の現在の状況を知ることができた。学校の特色、文化、教育内容の異なる3つの高校がひとつの校舎内で過ごす。特殊な状況ではあるが、生徒達は明るく真剣に授業に取り組んでいた。その裏では個々の生徒に対する先生方の配慮があつてのことだと思う。様々な境遇の生徒がいるため、原発や津波など震災関連の話はしない、という話が印象的であった。

他にも様々な話を聞き、被災地を見たが、震災が福島に与えた影響は極めて大きいと身をもって感じた。今回の経験を生徒達に伝えていくことが大事であり、また自分が同じような状況下で教師として何ができるか、深く考えさせられる貴重な研修であった。

他にも様々な話を聞き、被災地を見たが、震災が福島に与えた影響は極めて大きいと身をもって感じた。今回の経験を生徒達に伝えていくことが大事であり、また自分が同じような状況下で教師として何ができるか、深く考えさせられる貴重な研修であった。

## コミュニティ広場

### 長野県で一番小さな小学校 ～栄村立秋山小学校～



中津川の右岸に建つ校舎



運動会での一輪車の演技



文化祭での熊曳き唄の発表



苗場登山 山頂に広がる広大な湿原

平成26年度は、5年ぶりの新入生を迎えての出発でした。秋山小学校は、全校児童3名、教職員6名という、全県で一番小さな学校です。1年と5・6年の2学級で、1年生は、先生と1対1の学習がほとんどです。

休み時間には、「先生、体育館でこおりオニをするので一緒にお願いします。」というように遊びの誘いがきます。その時は、集団での遊びを子どもたちが体験できるようにと、仕事をやめて子どもたちと一緒に遊ぶようにしています。

児童の下校時、先生方も皆で外に出て、6年生の「さようなら」の合図で「さようなら」、そして一人一人が先生とタッチをして帰って行きます。毎日の大切な儀式になっています。

秋山には、地域の皆さんが学校へ足を運んでくださる地域との合同行事が年3回あります。この日ばかりは、校庭や体育館が賑やかになり子どもたちも職員も大変楽しみにしています。

6月には、秋山地区との合同運動会。子どもたちの出場種目の中には、一輪車の演技があります。1年生にとっては、初めての一輪車でしたが、休み時間に5・6年生と一緒に練習をして、本番でもしっかり乗りこなすことができました。

11月には、秋山校区の文化祭。今年は、子どもたちは、マタギについて調べたことを劇にしながら「熊曳き唄」を発表。合奏では職員も加わって「見上げてごらん夜の星を」の演奏をしました。後半は、地域の皆さんの発表でしたが、笑いあり、聴き入る発表ありの楽しい一時となりました。

秋山小ならではの学校行事として、9月には、地元の山である苗場山(2,145m)への登山を行いました。これには、秋山そして苗場山を愛する写真家の飯塚英春さんとその仲間の戸谷さんが、ガイドとして一緒に登って下さいました。山頂のヒュッテでは、子どもたちが、秋山の民謡である「熊曳き唄」と「のよさ節」を宿泊客に披露する場面もあり、たくさんの拍手をもらいました。翌朝は、早起きをしてご来光を仰ぐこともでき、子どもも職員も思い出に残る登山となりました。

秋山の秋は、紅葉が素晴らしく、団体客がマイクロバスで来たり、県外ナンバーの車が来たりと大変賑やかです。他にも「柱状節理の見事な布岩」「水面に山容が映り込む天池」「険しい岩壁の鳥甲山」「川原の野天風呂で有名な切明」等々、自然を楽しむことのできる場所がたくさんあります。

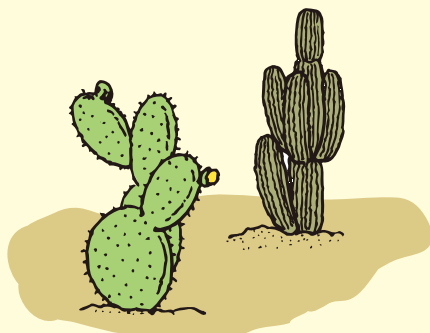
紅葉も終わると、いよいよ雪の季節になります。冬季、秋山までの道は新潟県津南町からの国道405号線一本になりますが、子どもたちと元気いっぱい冬を乗り切っていきたいと心の準備をしています。

秋山小学校長 平野弘蔵さん

## コミュニティ広場

ジブラルタ生命保険(株)須坂支部LC 駒津アヤ子さん

### サボテン



学校を訪問させて頂く折、先生方には丁寧な対応をして頂き感謝しております。私が一番印象的だったのは、4月に転入された先生方の机の上にサボテンのミニ鉢が置かれていた事です。それは校長先生からのプレゼントでした。そこには大切な想いが込められているのだと感じています。先生方が日々の授業や年間通してさまざまな行事に真剣に取り組む姿、また校内の様子などを保護者の方にも伝わる様に毎日プリントを綴って下さる姿勢に、教育者としての熱意が感じられ頭が下がります。弘済会の共済事業でより多くの先生が助成金でよりよい教育に励んでいただきたいと思います。先生方にも家族がいて家庭があります。何もないことが一番ですが、ご自身は勿論、ご家族のために安心な保障を提供し、いざという時、そっと寄り添え、長く居続けるLCとして精一杯頑張っています。

須坂小学校長・須坂支援学校長 畠山信重さん

### LCさんは人生の達人



畠山校長先生と駒津LC

4月、新規採用の先生に教弘の説明に来ていただいた時の事です。「…退○互は入っておかれると良いですね」自社のジブラルタ生命の宣伝より先に、我々教職員仲間の共済制度を勧める姿にすっかり感心してしまいました。そこには「良いものは良い！」と、はっきり言い切る至誠の心を感じたのです。以来、教弘のLCさんの一挙手一投足は社会人としての行動の規範となりました。来校の際の挨拶、言葉遣い、立ち位置に至るまで、その心配りは見事です。様々な職場を回っておられるLCさんには、職場毎の雰囲気の違いも瞬時に見分けられるようです。「お出入りの業者に良く思われない学校はろくな学校ではない」先輩教師がかつて漏らした言葉を思い出します。LCさんに「良い学校ですね」と言われるような学校にしなければと、しきりに思うこの頃です。

# 教育文化事業追加公演のお知らせ

ご好評の「教育文化事業」、追加公演のお知らせです

## 事業Q 市川海老蔵特別公演 ～源氏物語～

- ①日時・会場…2015年3月18日(水) 18:30開演 上田市交流文化芸術センター(上田市)
- ②料 金……S席指定10,800円(自己負担5,000円)
- ③優待人数……100名

## 事業R 劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロツテ」

- ①日時・会場…2015年3月21日(土・祝) 15:00開演 レザンホール(塩尻市)
- ②料 金……全席指定4,000円(自己負担1,000円)
- ③優待人数……100名

## 事業S 劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロツテ」

- ①日時・会場…2015年3月22日(日) 15:00開演 大町市文化会館(大町市)
- ②料 金……全席指定4,000円(自己負担1,000円)
- ③優待人数……30名

## 事業T 劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロツテ」

- ①日時・会場…2015年3月24日(火) 18:30開演 ホクト文化ホール(長野市)
- ②料 金……全席指定4,000円(自己負担1,000円)
- ③優待人数……150名

## 事業U 佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団 10周年記念ツアー

- ①日時・会場…2015年4月18日(土) 15:00開演 上田市交流文化芸術センター(上田市)
- ②料 金……全席指定9,000円(自己負担4,000円)
- ③優待人数……100名

## 事業V 岡 幸二郎 Best of Musical

- ①日時・会場…2015年5月17日(日) 14:00開演 ホクト文化ホール(長野市)
- ②料 金……全席指定5,000円(自己負担2,000円)
- ③優待人数……50名

### ☆応募方法

必ず**往復ハガキ**にて、ご応募ください。

往信用に①氏名 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤希望事業名(Q～V) ⑥勤務学校名(退職者は「友の会」と記入) ⑦希望枚数(事業Q・U・Vは2枚以内 R～Tは4枚以内)を記載、返信用宛名面に**ご自身の郵便番号・住所・氏名(様)**を記入して、教弘事務局まで郵送して下さい。

※1枚の往復ハガキで複数の事業への応募は不可。往復ハガキ1枚につき、応募は1事業に限ります。

※記入漏れがあった場合は、抽選対象外。

※フリクションペン(消せるボールペン)のご使用は避けてください。抽選結果を印刷する際、熱により字が消えてしまいます。

※応募者多数の場合は抽選になります。

※当選者は、自己負担金を送金してください。(当選ハガキにてご連絡します)入金確認後、チケットを発送します。

### ☆応募期限

**事業Q～T：2015年2月6日(金)必着**  
**事業U～V：2015年3月6日(金)必着**

### ☆応募先

(公財)日本教育公務員弘済会長野支部  
〒380-0836 長野市南県町999-18  
不動産会館ビル2F